

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

観賞用として輸入され、逸出、遺棄されたりして広がりました。鹿児島県では一般防除種に指定され、指宿市周辺、天降川、喜界島、沖永良部島で確認されています。胎生種で繁殖力が強く、在来種を駆逐するおそれがあります。観賞用で飼育している場合は、最後まで責任を持って飼い続け、途中で捨てないようにしましょう。奄美群島などでは、水温が高く定着しやすいため、特に注意しましょう。

1 基本情報

分類		
目・科名	カダヤシ目カダヤシ科	
種名(亜種名)	グッピー	
学名	<i>Poecilia reticulata</i>	
環境省カテゴリー	その他の総合対策外来種	
県カテゴリー	一般防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	前頭(本土)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	—	
侵入・定着の状況		
自然分布域	中米	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	観賞用として輸入され遺棄、逸出	
県内の侵入分布	指宿市周辺、天降川、喜界島、沖永良部島	
全国の侵入分布	北海道、福島(内郷温泉)、長野(戸倉、上山田、浅間温泉)、静岡(蓮台寺温泉)、岡山(奥津温泉)、大分(別府温泉)、鹿児島(指宿市周辺、霧島市)、喜界島、沖永良部島、沖縄、小笠原。	
生態学的特性		
生態	食性は雑食性で、小動物、藻類、家庭排水に含まれる有機物などを食べる。 冬季でも水温は18℃以下に下がらない高温の流れの緩やかな場所に生息する。低温に弱い。	
形態	全長オス3.5cm、メス5cmで、メスのほうが大きい。 背びれや尾びれの形は様々であり、特にオスでは変異に富む。体色は、野生化したメスではふつう黄褐色であるが、オスではひれや体側に色々な色彩の斑紋を持つものが多い。	
繁殖形態	25℃以上の水温であれば、1ヶ月に1回の割合で産仔する。卵胎生で、卵胎生で、メスは卵ではなく直接子魚を産む。	
生息環境	温かい河川、湧水、排水、水路など。九州以北では温泉地、工業排水など温水の流れ込む河川・水路などに生息する。水質汚染への耐性が極めて強く、市街地の下水溝にも生息。塩分に対する耐性も強く、汽水域でも見られる。	
特記事項	—	

2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①小型の魚類、甲殻類、水生昆虫などの捕食。胎生種で繁殖力が強く、在来魚類を駆逐するおそれがある。
県内で特に予想される被害	小型の魚類、甲殻類、水生昆虫などの捕食。在来魚類の駆逐。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①小型の魚類、甲殻類、水生昆虫などの捕食。在来魚類の駆逐。 ②観賞用として導入され、逸出、遺棄。
3 対策	
グッピーを見つけたら	観賞用で飼育している場合は、最後まで責任を持って飼い続け、途中で捨てないようにしましょう。奄美群島などでは、水温が高く定着しやすいため、特に注意しましょう。
見分け方	グッピーのオスは赤、青、緑など鮮やかな色彩をしているため区別しやすい。類似種であるミナミメダカは、鮮やかな色彩はしておらず、尾びれが角張っており、尻びれも広い。
見かけやすい場所・時間	温かい河川、湧水、排水、水路。九州以北では温泉地、工業排水など温水の流れ込む河川・水路。 冬でも一定以上の水温を維持できる水域にしか生息できない。
防除方法	タモ網などによる防除。
防除の取組事例	沖縄県ではホームページに外来魚密放流禁止のサイトを作成している。
その他	—
参考資料・参考URL	国立研究開発法人国立環境研究所 侵入生物データベース https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/50240.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 沖縄県 外来魚密放流禁止！ http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/suisan/17574.html 川那部ほか(1989)日本の外来魚ガイド。山と溪谷社。東京